

委員会行政視察報告書

委員会名	建設常任委員会			
活 動 委 員 名				
今 泉 勝 博		小 川 洋 平		沢 目 正 俊
工 藤 正 廣				
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
512,257円			約128,064円	512,257円
期 間 (年月日)	平成28年 7月11日 ～ 平成28年 7月13日 (2泊 3日)			
視察事項	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県西条市「アクアトピアの取組みについて」 ・愛媛県松山市「みんなで歩いて暮らせるまちづくり（街路整備）について」 			
視察先	愛媛県西条市、松山市			
内容及び成果				
※別紙のとおり				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感は別途作成し添付してください。

行政視察報告

視察先 愛媛県西条市

建設常任委員会

乙 藤正廣

期日 平成 28 年 7 月 12 日

テーマ アクトピアの取り組みについて

西条市は霊峰石鎚山を主峰とする緑豊かな山並みと、中心部をながれる賀茂川、また市内のいたる所に、自噴する地下水があり、水資源が豊かな水も都として今に至っている。

この水資源を更に有効利用する為に「アクトピア」事業をスタートした。この基本理念は水の理想都市のことで薪水都市と位置付け、清らかな水辺を蘇らせ、人と水との結びつきを深めることを基本とする。現地を見聞したが、すばらしい環境が創生されている。「湧水ゾーン」「流水ゾーン」「遊水ゾーン」「景水ゾーン」等潤いを感じる施設であり、街全体がテーマパークの感がある。予算は 11 億 3000 万円で国の補助が半分と伺いました。我が十和田市も奥入瀬溪流から流れる稲生用水があり、この水を活用して、街に水公園を創作したら素晴らしいと思うが、予算の面と水利権者の考え方もあるので実現はむずかしい。

行政視察報告

視察先 愛媛県松山市

期日 平成 28 年 7 月 12 日

テーマ「あるいて暮らせるまちづくり」

基本的な考え方

- 1、 生活の諸機能がコンパクトに集合した暮らしやすい街
- 2、 安全で快適で楽しいバリアフリーの街
- 3、 住民との協働作業による持続性のある町

松山市は、道後温泉、松山城、坂の上の雲で知られる、正岡子規、秋山真秋、秋山好古など、文化遺産があり 500 万人を超える観光客がある。そのインフラ整備と共に市民が快適に暮らせることと、観光客が動きやすい、道、広場を市民生活に融合させる。ある意味で「コンパクトシティー」の変則版とも言える。バリアフリー化、電線地中化、古いアーケードの撤去、観光スポットコース広場の拡大など、市民と観光客に優しい配慮がされた事業であり、我が十和田市も望むところだが、街の構造、構成が違いすぎる為むずかしいと考える。できることから進めることが肝要である。

建設常任委員会 工藤正廣